



目にとまり 心に残る 広報紙に



発行所
大分市下郡字長谷496の38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055
責任者 藤田 千克由
印刷所 大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社

九P大分大会まで

あと163日

県知事賞に「広報 鶴見」

別府市立鶴見小学校PTA

おめでとうございます

- 第30回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校P(育友会)
- | | |
|--|--------------------------------------|
| 県知事賞
「広報 鶴見」 鶴見小(別府市) | 県小学校長会長賞
「あけの西」 明野西小(大分市) |
| 県PTA会長賞
「広報 つるおか」
鶴岡小(佐伯市) | 県中学校長会長賞
「上野ヶ丘」 上野ヶ丘中(大分市) |
| 「わさだ」 植田中(大分市) | 県広報教育研究会賞
「たかせ」 高瀬小(日田市) |
| 「城山」 佐伯小(佐伯市) | 大分合同新聞社長賞
「まてばしい」 下郡小(大分市) |
| 「かんざき」 神崎小(大分市) | 「ひしの花」 金池小(大分市) |
| 「津留小タイムズ」 津留小(大分市) | 「鶴の輪」 鶴居小(中津市) |
| 県議会議長賞
「北っ子」 明野北小(大分市) | OBS賞
「もりおか」 森岡小(大分市) |
| 「育友会会報」 鶴谷中(佐伯市) | TOSテレビ大分賞
「はつせ」 南大分小(大分市) |
| 県教育長賞
「だのはる」 (大分市)
大分大学教育福祉科学部附属小 | 大分朝日放送OAB賞
「さざんか」 中島小(大分市) |
| 「あおがき」 (大分市)
大分大学教育福祉科学部附属中 | |

優良賞(順不同)

中 部 中	松 岡 小 小 小	佐 伯 南 中 小
鶴 見 台 中	判 田 小 小 小	八 幡 幡 東 小
(別府市)	植 田 大 大 大	三 重 豊 後 大
東 中 中	在 西 小 小 小	東 三 大 咸 日 光 有
大 田 西 中	在 江 小 小 小	
植 田 南 中	ノ 津 小 小 小	
荷 揚 南 小	久 見 小 小 小	
城 日 桃 明	布 川 小 小 小	
明 治 北 小	(由布市)	



表彰を前に緊張の面持ち

表彰式では、受賞校P代表や来賓が出席する中、藤田千由由県PTA連合会長が「広報紙作りにおける労働力の多さに改めて感動している。広報紙の目的は情報の共有。課題や解決策を会員に伝える大事なものである。PTA活動に関心を持ってもらうよう、広報紙を通じて鼓舞してほしい。これを機に新たな気持ちで取り組んでいただきたい」とあいさつ。深田秀生県教育長(代理)富松哲博県教育庁教育審議監が祝辞を述べた。

表彰の後、帆足三郎審査委員長より次のような講評があった。

引きつける紙面に

- 読者を引きつける紙面に
- シリーズ・企画物を載せる
- 行事を紹介するだけでなく、学校新聞との違いを出すために、定番物(先生紹介、運動会等)は号外や最後のページにするなどで工夫できる。
- レイアウトは良くなった。
- 工夫が見られ感心した。
- 写真はトリミングで強調できる。
- 手作り新聞は親しみやすさがあり大事にしてほしい。
- 見出しにドキッとさせられるものがあった。訴えるものがある紙面作りも大切。
- 母親の視点から食育・子どもの安全・防犯を取り上げて

第30回大分県PTA広報紙コンクールに出品された148点の中から、4月4日の厳選なる審査で入賞49点が決定した。4月18日に県教育会館で約90名が出席し、表彰式が行われた。

審査員

帆足 三郎(委員長)
大分合同新聞文化センター代表取締役社長

安部 崇夫 大分県広報教育研究会会長
森崎 純次 大分県教育庁企画調整室主任
岩尾 淳一 大分県PTA連合会「はく美」顧問
藤田千克由 大分県PTA連合会長

(敬称略)



紙面に見入る審査員

いる所が多かった。

部員の苦勞が報われて

県知事賞の辻実穂鶴見小学校P副会長は「毎年企画物を出し、わかりやすいようにまとめた。地域との一体化を心掛けていた。手書きと印刷両方に力を入れている。皆さんに喜んでもらえるものを作りた」と仕事を誇っている中での苦勞や活動の様子を語ってくれた。また、他の受賞校は「子どもの様子、学校のカラー、地域色が出るのが良い。編集会議を十分行い、タイムリーな記事作りをめざす。学校行事も扱い方で容認できる。親の願いが出てくるもの、子の成長を感じるものにするのも新しい取り組み。地域の架け橋になるものに。部員の引き継ぎをしっかり行うことが大事。これらのご参考にして、更に充実した広報紙作りが望まれる。

広報紙はPTAの顔

先に行われた審査会での評価やアドバイスとしては、● 学校新聞的なものがかなりあった。違いを明確に。● 1面はPTAの顔。重要性を理解し、ふさわしい記事を書く。地域の人、頑張っている人の顔、地域色が出るのが良い。● 編集会議を十分行い、タイムリーな記事作りをめざす。● 学校行事も扱い方で容認できる。親の願いが出てくるもの、子の成長を感じるものにするのも新しい取り組み。● 地域の架け橋になるものに。● 部員の引き継ぎをしっかり行うことが大事。これらのご参考にして、更に充実した広報紙作りが望まれる。

研心北

はたらけど 猶わが生活 楽にならざり ぢっと手を見る 〆よごれたる 手を洗ひし時の 〆かすかなる 満足が 〆今日の満足なりき。

石川啄木の歌である。さて自分の手を改めてジッと見るといふような思いが浮かんで愛しくなりませんか。四、五〇年前までは身の諸道具は殆んど手作り、それには作り手の心や人柄、生活臭が込められていた。今日の機械製品にはそれらは見えない。掛掛け、掃帚、傘の修理場は子ども等の遊び場と同居して、その作業手付きを興味深く見入ったものである。文字の左右の一、二画は手を表わし、工は工作、口は口述を意味している。人は左右両手を駆使しての作りの歴史を重ねてきた。そして「手仕事の日本」(柳宗悦著、岩波文庫)といわれる日本独特の文化を遺している。資源に乏しい日本が世界に冠たるには、この手工力を大切にしたいものである。ではいかにしてこの国民性と風土を永続させるか。それには次世代を担う子どもも育て以外にない。勿論大人の手本も不可欠である。ピアノやパソコンを叩く指先の鍛錬も大切だが、掌でものを作る、握る、掴む。打ったり切ったりする手仕事を子ども時に是非体験させたい。例え遠回りでも箸の使い方、履き物や身の諸道具の整理、正しい姿勢や挨拶ができる。こんな日常生活の基盤習慣化こそ文化を継承する子どもも育てると思ふのである。● 思想は本屋へ行けば即座に手に入るが、皺を手に入れるのはつらい時間がかかるのだよ(開高健)。人生に懐手の妙手はない。手は人生である。満足をおぼえる手になった時、その手は美しく、力強い手である。

他校紙を参考にして...

ラーを伝えられるよう心掛けています。足を運び、学校をよく知る事が大切。部員と話し合いを常に持ち、普段のコミュニケーションの中から話題を探しているなど広報紙作りの秘訣を聞かせてくれた。会場には、記念写真を撮った。



講評を聞く受賞校の皆さん

お知らせ

☆第30回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版

県内の各小・中・養護学校の広報部には1冊贈呈しました。1冊1,000円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PTA事務局までお申し込み下さい。大分県PTA連合会事務局 (097)556-9055



「地域の宝」実践交流会

成果を力に変えて

2月25日(日)、大分県教育会館多目的ホールにて異校種ネットワーク事業「地域の宝」(県教委より委託)実践交流会が行われた。県内7ブロックの中学校が、拠点校となり、協力校とともに1年間取り組んだ内容を発表した。

協力をめざして

会場には、活動を行った関係者約130名と前年度の拠点校、協力校のPTAも参加した。実践校が協力校と連携し、成果を上げた活動の発表に熱心に聴き入っていた。

度は、その3年間の集大成を迎えることとなった。この事業に携わった方は、8,000名を超え地域の方を含めるとおよそ2万4千人の方が携わったことになる。家庭・学校・地域の本来あるべき姿を模索し、社会基盤の整備等、貢献度の強い事業であったと思う。各ブロック実行委員会の皆様及び会員の皆様の労をねぎらいたい」とあいさつした。

- 中津ブロック
豊後高田市立高田中学校
進藤徳子PTA会長
①五月祭に向けて「昭和の町」ボランティア清掃活動
②地域の学校を育てる会
③あいさつ運動・交通指導
④「地域の宝」教育講演会
⑤森照明先生(国立西別府病院長)
⑥秋祭り・ボランティア清掃活動
⑦ジョイント・コンサート

- 別府ブロック
国東市立富来中学校
猪俣努PTA会長
①羽田海岸ボランティア清掃・救急救命法
②子育て講演会「土谷尚史さん講演会」
③三代交流「富来区のみなさん」
④とみくじマラソン(スタッフボランティア)
⑤富来地区・富来中学校合同文化祭
⑥子育て講演会「衛藤祐治さん講演会」(ヨセフ学園)

- 大分ブロック
津久見市立第一中学校
児玉隆志PTA会長
①「ふれあいクリーン作戦」
②子育て講演会「豊岡光剛氏(浄慶寺住職)」
③学校給食試食会
④終わってみればあつという間の1年だった。特に「ふれあいクリーン作戦」は881名が参加した大事業となった。

- 佐伯ブロック
佐伯市立鶴谷中学校
工藤隆宏育友会長
①子育て教育講演会(中高合同) 丸井氏(佐伯警察署生活安全課長)、園田氏(NTT西日本ネットキヤラバン)
②育友会(総務と語る会)
③佐伯鶴城高等学校校長と語る会(中高合同)
④教育講演会「世界的ピアニスト伊藤京子氏トークショー」(中高合同)

- 日田ブロック
日田市立東部中学校
相良貞吉育友会長
①校区内のあいさつ運動
②家庭内あいさつの推進(アンケート調査・実施)
③あいさつ運動標語の募集
④園児・児童・生徒の交流ブリッジ方式(それぞれ)の学校(園)ごとに交流しあうことで、全体が「つながること」による交流。
⑤中間発表会・講演会「松本英明先生(前大分鑑別所長)」

- 大分市ブロック
大分市立明野中学校
三井裕二PTA会長
①明野まつり「地域の宝」演奏会
②高尾山ウォークラリー
③「家庭の日」推進大会
④「地域の宝」講演会「金正美氏・ハンセン病を知ろう」



「地域の宝」である子どもたちを学校・家庭・地域が一つになって守り育てていくという意識がますます強くなった。小中高参加のあいさつ運動

学校と家庭・地域社会が連携・協力し取り組むを進めることで、生徒一人ひとりを支えていくことができ、学校を身近に感じてもらうことができた。2年後、本校を含め国東町の4中学校が統合する予定である。地域から中学校がなくなっても地域の子どもたちが参加できる体制作りをしていかなければならない。

他校PTAだけでなくボランティア協会などの地域の方々とのつながりもでき、来年度も是非実施しようという意識が広がり、非常に意義深い事業であった。③小中高との連携・協働体制は非常に良かったが、安全面の理由からクリーン作戦では、小学校低学年の参加が十分にできなかったことが今後の課題である。

竹田ブロック
豊後大野市立三重中学校
小野律雄PTA会長
①あいさつ運動(年3回)
②保護者交流会(中高)
③教育講演会「向井治英氏(福岡県久留米市人権啓発センター)」
④競走大会・ウォークラリー支援ボランティア

小中高が連携した「ふれあい登校指導」や郊外補導協議会の中学校区ごとの会議があり、異ネットワーク基盤は整っている。今回は保育園・幼稚園にも呼びかけ活動の広がりはあった。②学区の関連で一つの中学校区でくるには無理がある。初めての取り組みなのでどれだけの費用が必要か予想しにくい。③ブリッジ方式による学校行

活動をふりかえって
指導助言の須藤恵美子県教育庁生涯学習課社会教育主事は「この「地域の宝」事業は他県にない素晴らしい活動。地域の人と協力して、出会い、ふれあって、新たなふれ愛が発見された。我が子だけでなく地域の子も自分の子という認識が大切。今年の9月研究大会大分大会の特別分科会にも拠点校の中から発表していただく予定」と講評した。この活動を通じて、特に異校種間PTAの交流が密になり、お互いの情報交換が盛んになった。活動の拠点校PTAの方々の努力が報いられ、達成感のあふれた会であった。

全国交通安全スローガン

大分県PTA連合会「交通安全色紙運動」を推進して、ま

大会を成功へ

— 会員一人ひとりの力が結集 —

平成19年10月27日(土)・28日(日)に開催される
第52回九州ブロックPTA研究大会大分大会まであと
163日余りとなる。

県Pでも昨年より、準備実行委員会が組織され、
着実に進められている。



全体会場となる別府市ビーコンプラザ

子どもたちの可能性を
ミュージカル「ここは命の星」



九州ブロックPTA研究大会大分大会
大会長 藤田 千克由

会員みなさん、日頃より県Pの活動にご理解・ご支援を頂きましてありがとうございます。さて九州ブロックPTA研究大会大分大会が開催されるまで、残すところ5ヶ月となりました。ついこの間まではまだまだ先の話だと思っていたのですが時間が経つのは早いものです。これから時間の速さに負けないように準備も急ピッチで進めていか

なければなりません。また本大会を成功裏に終わらせるためには実行委員会だけの力だけでは困難なことであり、会員一人ひとりの力が結集してこそ実を結びと信じています。よって本大会に対して充分に興味、関心を持っていただき、ご支援を頂きますことをお願いいたします。

それと本大会は九州各県の持ち回りで毎年開催されてお

り、分科会における研究発表も素晴らしいものですが全体会の記念行事においても各県の特性や個性を持った中で企画され、実施されています。そこで大分大会では大分県内の子どもたちが出演するミュージカルを行うことになりました。出演する子どもたちには幾多の困難が待っています。保護者説明会に始まり、オーディション、合宿、土日稽古、そして本番とこのプロセスがあるからこそ、子どもたちがより輝きを増し、本番の時には最高の輝きを放ちながら、みなさんの前に現れます。その時は愛情溢れる盛大な拍手で迎えてください。みなさんの拍手と感動の涙が子どもたちを「自分の可能性を強く信じる」ことへと導いていくこととしましょう。

大会スローガン

手を携えて育てよう
「地域の宝」が光り輝くために
～子どもが輝く
PTA活動を目指して～

研究主題

『学校と地域社会の
架け橋となる
PTA活動の
在り方を求めて』
～「協育」
ネットワークの
強化を求めて～

記念行事

(子どもによるミュージカル)
「ここは命の星」

3回講演

♥午前の部
11:00～

♥午後の部
14:00～
17:00～

大会期日と日程 《平成19年10月27日～28日》

第1日	27日(土) (分科会)	12:30	13:30	13:45	15:45	16:00	16:50	17:20	17:30		
		受付	開会行事	研究討議	休憩	研究討議	まとめ	閉会行事			
第2日	28日(日) (全体会)	8:15	8:30	9:00	9:45	10:20	10:30	11:00	12:15	14:00	17:00
		受付	アトラクション	開会式	表彰式	全体会	閉会式	記念行事	記念行事	記念行事	

※時間はまだ決定ではありません。

伝統と歴史ある大会

— 半世紀続いて —

10月、別府市「ビーコンプラザ」を主会場に本PTA研究大会大分大会が開催される。1日目に大分市と別府市の10会場で各分科会、2日目に別府市で全体会と記念行事、子どもたちによるミュージカル「ここは命の星」が熱演される。

大会趣旨は、「近年の急激な社会の変化に伴い、少子化・核家族化が進むなか、家庭・地域の教育力の低下が問題にされている。日々、子どもたちのために活動するPTAも今一度原点に立ち返り、親として、地域の一員として在るべき姿を再確認する必要がある。私たちは「家庭・学校・地域」の連携を深め、「地域に育つ子ども」の健全育成を目指す「協育」のために手をゆるめず、努力を続けていきたい」としている。

6月には、内林高徳九Pブロック研究大会大分大会実行委員長を軸に実行委員会も正式に立ち上がる。多くの時間を費やし、大会の準備に取り組んで行く。

記念行事、子どもたちによるミュージカル「ここは命の星」(7月15日)の日程も決定し、申し込み書を配布した。広い地域から元気な子どもたちがふるって参加し、素晴らしいミュージカルが仕上がることを見守りたい。

今年度は、予定している第16回大分県PTA研究大会大分大会を兼ねる形となった。九州ブロックPTA研究大会は、昭和29年第1回、宮崎大会に始まった。

この伝統は会員が、子どもたちに揺るぎない強い愛情と弛まない熱い活動をし続けているからである。

この九Pブロック大分大会を成功させるために全会員が総力を結集して取り組み大きな花を咲かせよう。



大人のチャレンジ

子どもは日々新しいことにチャレンジしています。大人は親はどうですか？

大人は親は日々新しいことにチャレンジしています。大人は親は日々新しいことにチャレンジしています。大人は親は日々新しいことにチャレンジしています。

私にとって新しいチャレンジはPTA役員を受けたことでした。それまでの生活では出会えなかったような人と知り合え、知らなかったことを学んで身につけたことも

沢山あります。もちろんうまくいかないこともありましたがそれもまた学んだことの一つでしょう。新しいことにチャレンジしていると子どもの気持ちも少しはわかる気がします。

「こんなことが出来たのよ」「今日失敗しちゃってね」などとお互いに語り合いながら気持ち共有できるのは素敵なことだと思います。それに、何かにチャレンジしたら新しい自分を発見できるかも知れません。

種田南中学校PTA 副会長 大村さゆり

自転車もハンドル握ればドライバー

三井住友海上

あなたのすべてを守りたい。

積立保険
自動車保険
火災保険
海外旅行保険
ケガの保険
ゴルフ保険

保険のことなら
三井住友海上代理店まで。

県P連補償制度は

- 全加入のPTA安全補償と任意加入の(自転車(1-3年間)補償)があり(育児補償)
- 三井住友海上火災保険(株)を引受保険会社とする保険と県P補償共済を組み合わせたものです。
- お問い合わせ先 備トータルアシスト ☎0120(112)357
- 事故の場合 ☎0120(112)357
- 制度全般について 大分県PTA連合会事務局 ☎097(556)9055

ネットワーク 16 報 村 PTA

(16は県下郡市等P連の数)



由布市P連は、中学校3、小学校17の計20校、会員数約2,600名で構成されています。大分郡P連時代は4町でしたが、合併に伴い3町(挾間、庄内、湯布院)で新たにスタートしました。

最大の行事は9月に行われる「由布市PTA会員研修会」(指導者研修会)です。参加者数約350名で全体会・講演と、小学校3校、中学校1校による分科会。分科会は自由なテーマにおいて発表形式で行い、毎年熱心な討議が繰り返されます。

充実した研修会のために

ところが合併により中学校が3校となり、発表の順番が

新たな取り組み

由布市P連(当時は大分郡P連)は、平成16年度から組織検討委員会を立ち上げ、組織の再編や運営等について協議してきました。広報紙の発行や、市長さんたちを囲んでの単P会長会、市への要望の会。平成19年度は新たに研修会を持ち、相互の連携を深めたいと考えています。それは子どもたちの健全育成にもつながって行くことでしょう。由布市の理念でもある「融和・協働・発展」は市P連でも着実に実行されています。

由布市PTA連合会 事務局長 田中 眞知安



心身ともに豊かであらう
「ゆふっ子」を育てる

由布市PTA連合会

第22回日中友好「少年少女の翼」国際交流を通じてはぐくまれた心の交流

日P主催の第22回日中友好「少年少女の翼」が3月24日から29日の6日間にわたり実施された。

両国の友好親善を深め、歴史、文化を学び、国際化社会にふさわしい心豊かな青少年の健全育成を図ることを目的に交流を続けている。

毎年、県から中学2年生の男女を交流事業として派遣している。感想を寄せてもらった。

最高の6日間

杵築市立宗近中学校 2年 福田 百合

私が「少年少女の翼」で学んだ事、それは、「一期一会」ということでした。もしもあの時、私が参加したいと言って

日々驚きの連続

日田市立大明中学校 2年 佐々木 魁斗

「うおっデカッ」
僕が北京上空を飛んでいる

編集後記

3年間の集大成「地域の宝」事業。私も「はぐく美」に携って早や3年。いよいよ卒業。PTAの事、勉強できました。

ミュージカルのオーディション。未来の役者、歌手、舞踏家の誕生になるかも…。

編集作業で疲れた頭、体を動かしリフレッシュ。ミニバレーで発散!

▼草木の緑が初夏を感じさせてくれる季節。編集時九P大会の話を耳にしたい日はない。

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。

成重恵美子 丸木福子
指原里佳(新) 大村さゆり(新)
竹本美恵子(新)
(顧問)岩尾淳一
☆新人スタッフ3名を加え、新たな気持ちで紙面作りを励んでいきます。ご愛読下さい。

反抗期 どう接したらいいの? みんなでがんがえる コーナー

先日、中学2年生の娘の服装について批判がましい声が耳に入ったことで私はキレてしまいました。その場にふさわしくないちよつとハデな格好と思わないでもありませんでしたが、そのまま送り出してしまったのでした。その時、子どもの気持ちを聞いておけば、知人への対応も感情的にならずに済んだのかもしれない。普段、子どもとの会話は欠かせないものと、気にかけていたのですが…。

A ファッションに関心が強い子どもに、これまでに、この話題を切り出せなかったの

かもしれません。子どもの興味・関心が高い密接なものほど、その結論を気にしすぎて、「子どもの心を汲み取る会話の対象から離れやすくなりがちではないでしょうか。」

相田みつをさんは、「つまづいたって、いいじゃないか人間だもの」といっています。これは子どもの成長過程にも欠かせないのだと考えます。身近なことを話し合い、心を汲み取り、試行錯誤を認め、ゆつくりとした時間の中で育つ姿を見つめていくことはどうでしょうか。

みんなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一

- 県P情報**
- 6月8日(金)定期総会
 - 6月22日(金)幹部研修会
 - (社)日本PTA 第52回九州ブロックPTA研究大会
 - 大分大会 平成19年10月27日(出)
 - 大分市と別府市の10会場分科会 28日(日)
 - 別府市ピーコンプラザで全体会
- ◆記念行事 (県内の子どもによる) ミュージカル 「ここは命の星」

今年度から、1面コラム「はれっ」との筆者が、渡辺恭英氏から牧泰正氏にかわりました。タイトルも「はれっ」とから「研北寸心」にかわります。(プロフィール)

○元大分市立南大分小学校長
○NPO法人・県書連会長
○県美協名誉会員
○(財)書道芸術院評議員・九州支局長
○大分合同新聞文化教室講師
○泰瀧書道館主宰
氏 名 牧 泰正(泰瀧)
生年月日 昭12年4月5日

◆おこわり
「まなざし」は紙面の都合でお休みします。

【お詫びと訂正】
298号(2月23日発行)4面の「県P情報」日中友好少年少女の翼」中、参加校名で誤りがありました。

杵築市立宗方中学校
宗近中学校
お詫びして訂正いたします。